

【重度障がい児支援 花色】 事業者むけ自己評価結果

株式会社 湧心

(令和2年4月～令和3年3月迄)

在職職員(正・バ) 8名中 5名回答

チェック項目	はい ○	わからない (無回答)	いいえ ×	工夫点	職員間の意見と目標等
環境・体制整備					
子どもの活動等のスペースが充分確保されているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・療育スペースと休憩スペースに分けています。</li> <li>・当日のお子さまの状態や、お荷物、行動範囲等をに合わせた部屋配置をしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機器の多さによって動線確保が難しい事も生じるため、保護者様の理解を得て利用者様の予約日の変更等も今後は必要になると考えます。</li> </ul>
職員の配置数は適切であるか	100%				<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、専門職それぞれが知識を共有する事が必要となります。</li> </ul>
設備等について、バリアフリー化の配慮等が適切になされているか	100%				<ul style="list-style-type: none"> <li>・バギーの基本操作や介助方法を共有し、送迎員を含めて理解を深める必要があります。</li> </ul>
業務改善					
Plan(計画)→Do(実行)→Check(評価)→Action(改善)サイクルに則り、計画や相談に加わっているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケース会議の定着により定期カンファレンスを行っております。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標の具体性と計画の共有が必要と考えます。</li> <li>・個別の情報提供文書を全員が読み込み、PDCAを意識したカンファレンスを深めていきます。</li> </ul>

【重度障がい児支援 花色】 事業者むけ自己評価結果

株式会社 湧心

(令和2年4月～令和3年3月迄)

保護者の意向等を把握し、評価をし、業務改善につなげているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時に保護者様から看護師へ伝えて頂いた内容及び、児発管の面談より頂いた内容を共有し、業務改善につなげています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者様とのコミュニケーションをとり、客観的な評価を必要としていきます。</li> </ul>
第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	-	-	-		<ul style="list-style-type: none"> <li>第三者委員会は北海道で3か所しかなく、不可能な状態です。</li> </ul>
職員の資質の向上にむけた研修を行っているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで同様に、医療、療育、リハビリ、虐待予防等の研修等“今必要な情報”をまとめ、学んでいきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナの影響により、現状はオンラインと、内部での研修を行っております。今後も計画していきます。</li> </ul>
適切な支援の提供					
面接や聞き取りを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、個別支援計画を作成しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> <li>・児発管及び必要時には管理者による面談を行っており、その結果を個別支援計画に反映させております。</li> </ul>	
個別支援計画には「発達支援」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から必要な項目が適切に選択され、具体的な支援内容が設定されているか	85%	15%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援計画の変更及び更新時にはミーティングで児発管から内容を連絡しております。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援計画は、看護師を含めて読み込んでいきます。</li> <li>・より具体的な地域支援方法をコロナ終息後に計画していきます。</li> </ul>

個別支援計画に沿った支援が行われているか	100%			・毎月、“療育とリハビリ”の情報をまとめた情報提供書に個別支援計画を掲載し、支援方法を見直すようになりました。	・職種に限らず、全員が情報提供文書を読み込み、支援と評価に繋げていく必要があります。
活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%			① 療育・リハチームで行い ② 療育・リハ・看護師全体で行っております。	・現状は療育チームにより活動プログラムを立案し、看護師が体調管理を行っておりますが、具体的に看護師からの療育提案を今後は求めていく事も検討していきます。
活動プログラムが固定化しないように工夫をしているか	100%				
平日・休日・長期休暇に応じて課題をきめ、細やかに設定して支援しているか	100%			・季節を感じられる療育活動や食育活動等を個別療育、集団療育を設定しております。しかし、医療的ケア児の状態によってはその都度、設定を変更することもあります。	・長期間のおたのしみの継続した療育活動を発展させながら行っていきます。
子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ個別支援計画を作成しているか	100%				

【重度障がい児支援 花色】 事業者むけ自己評価結果

株式会社 湧心

(令和2年4月～令和3年3月迄)

支援開始前には職員間で打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担を確認しているか	60%	40%		・利用児の到着時の状態を確認し、各専門職が療育開始前に本日の支援内容や注意点を伝えあうスタイルと、ホワイトボードでの各職員の仕事内容の記録形式へ変わりつつあります。継続します	・利用児の人数等に関わらず、毎日行う必要があり、徹底していきます。
支援の振り返りを行い、気づいた点を共有しているか	100%			・支援の振り返りは月に一度のミーティング時に全員で行っております。また、急を要する内容は即情報共有しております。	・シフトや送迎の問題があり、毎日全員では出来ていませんが、急を要する場合には話し合いができています。また、記録書やひきつぎノートを活用していきます。
日々の支援に正しく記録をとり、徹底して支援の検証や改善につなげているか	100%			・日々の記録は必ず残し、月例ミーティングにてすべての職種が話し合っております。	
定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%				
児童デイサービスガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	60%	30%	10%		・すべての職員が令和3年度中には、ガイドラインを読み込みます。
保護者や関係機関との連携					
担当者会議には、その子どもの状況に精通した最もふさわしい職員が参画しているか	85%	15%			

【重度障がい児支援 花色】 事業者むけ自己評価結果

株式会社 湧心

(令和2年4月～令和3年3月迄)

関係機関と連携した支援を行っているか	<b>85%</b>	<b>15%</b>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・主治医、学校、相談支援専門員、保護者、訪看と連携し、支援しております。</li> </ul>
学校との情報共有、連絡調整（送迎時の対応等）を適切に行っているか	<b>85%</b>	<b>15%</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校へ療育とリハビリの情報提供文書を発行し。</li> <li>・医療的ケアについては、学校看護師に情報提供文書を発行し、相談や連携がとれる状態を作っております。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校からの情報が薄く、わかりづらい時があります。今後、より深い内容につきましては児発管より学校コーディネーターに連絡相談していきます。</li> </ul>
在宅支援のために地域の関係機関と連絡体制を整えて支援しているか	<b>100%</b>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケアやリハビリの状態や内容については、旭川医大病院、旭川厚生病院、療育センター、相談支援専門員、訪問看護ステーション等と継続的に情報を共有しております。</li> <li>・療育内容は、学校、児童発達支援センター、相談支援専門員等と継続的に情報を共有しております。</li> </ul>
医療的ケアの部分において。子どもの主治医や協力医療機関等と連携体制を整えているか	<b>100%</b>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の総合病院（主治医）、関係する協力医療機関のご協力を得る事が出来ております。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在 100%情報を共有し、連携を整えております。</li> </ul>

【重度障がい児支援 花色】 事業者むけ自己評価結果

株式会社 湧心

(令和2年4月～令和3年3月迄)

移行支援として、保育所や小学校との間で支援内容の情報共有を行っているか	100%				<ul style="list-style-type: none"> <li>就学児の教育委員会との連携や、各自治体、養護学校や特別支援学級との情報を共有し、必要に応じて主治医を含めた担当者会議を開催しております。</li> </ul>
専門機関（児童発達支援センター、旭児連等）と連携し、助言や研修を積極的に受けているか	80%	20%		<ul style="list-style-type: none"> <li>ZOOM等を活かした研修や、旭川市内のコロナ感染状態が落ち着いている時には専門機関からの派遣研修を行っております。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍のため、積極的参加が薄くなりがちでした。今後は研修に積極的に参加していきます。</li> </ul>
障がいのない子どもたちと交流や活動する機会があるか		15%	85%	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご希望の利用児様を対象としてコロナ終息後にイベントを企画していきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者様の声を参考に、コロナ終息後の課題にしていきます。</li> </ul>
日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、発達の状況や課題について共通理解をもっているか	100%				
保護者の対応力の向上を図る観点から、家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング）の支援を行っているか 医療的ケア、療育、関わり方、リハビリ等	20%	20%	60%	<ul style="list-style-type: none"> <li>茶話会やカルチャー参観日等にて保護者様の横つながりと共に、疑問点につきまして講師をよび経管栄養やオムツ、ポジショニング等の講習会を行っております。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>重症児デイでは、日常的に保護者様の不安や将来にむけた悩みを含めて、家族支援を行っており、個別の支援を今後とも継続していきます。</li> </ul>

保護者への説明責任等					
運営規定、利用者負担等について丁寧な説明をしているか	100%				
児童発達支援ガイドラインの提供すべき支援のねらいに基づき、個別支援計画書を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか	100%				
保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	85%	15%			・職種に限らず、個別の情報をしっかりと一人一人(スタッフ)が把握し、必要な助言を行えるように今後も学んでいきます。
父母会の活動の支援をしたり、保護者の集うイベントを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	20%	80%		・コロナ禍は感染防止の観点から行えておりません。状況を正しく判断し、行うべき時がきた時には保護者様へご連絡をする予定であります。	・新型コロナが落ち着いてから保護者様を含めて集まるイベントをこれからも行っていきます。 また、今後は希望者による父母会をコロナが落ち着いてから行う予定であります。
子どもや保護者からの相談や申し入れに対して迅速に対応しているか	100%				
定期的に通信等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信しているか	100%			・保育士による利用者様対象の「通信」。管理者による関係機関を含めた皆様対象の「二	

				ユースレター」。その他、多くの方にご理解を頂くためにFacebookを行っております。	
個人情報の取り扱いに十分注意しているか	<b>85%</b>	<b>15%</b>		・より慎重に行っていきます	
子どもの意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	<b>85%</b>	<b>15%</b>			・アイコンタクトやスイッチの活用等を含めて、支援者が児の気持ちを汲み取れるように、努力していきます。
事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っているか	<b>50%</b>	<b>50%</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナが終息した時には町内会の皆様を含めた地域の皆様へむけた事業所を知り、結びつくイベントを開催していきます。</li> <li>・町内会の皆様のご協力により各お庭先でのサクランボ狩りや七夕イベントを行わせて頂いております。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のボランティアさんが絵本の読み聞かせ等を行ってありました。また、花色祭りでは関係機関の医療従事者や町内会の方が参加してありました。コロナ終息後に再開していきます。</li> </ul>
非常時の対応					
緊急時マニュアル、感染症マニュアル等を策定し、発生を想定した訓練を実施しているか	<b>40%</b>	<b>60%</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練を地域の皆様もご協力のもと、実施していきます。</li> <li>・個別緊急マニュアルを作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、感染予防マニュアル(詳細)作成中につき、でき次第実施していきます。</li> </ul>



				<p>することができました。保護者の皆様、主治医の皆様、ご協力ありがとうございます。</p>	
定期的に避難訓練や救出訓練を行っているか	<b>100%</b>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・年に2回、今後も継続して行っています。</li> </ul>	
子どもの体調把握や状況を事前に確認しているか	<b>100%</b>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・「通所前連絡」を保護者様に都度ご記入いただいております。</li> </ul>	
食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	<b>100%</b>				
ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	<b>60%</b>	<b>40%</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は、小さな失敗も含め、どのような事も記録し、ミーティングでの話し合いをこれまで以上に深めていきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハットを用いての話し合いを深めていく機会を増やしていきます。</li> <li>・お詫びする出来事については、これまで以上に話し合いを深め、ヒヤリハットを共有していきます。</li> </ul>
虐待を防止するため、適切な対応をしているか	<b>50%</b>	<b>50%</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の身体チェックを含め、疑問点には早い段階で保護者様に確認をするようにしております。</li> <li>・職員内での言葉がけが丁寧であるか等を今後も職員間が</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児相による研修を行いました。この先は各スタッフが個別に虐待防止にむけた意識で「虐待」についての学びを深めます。</li> </ul>

				話しやすい環境をつくり、全員で言葉を含めた虐待防止に取り組んでいきます。	
どのような場合に身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、十分な研修と説明を行った上で、個別支援計画に記載しているか	<b>20%</b>	<b>60%</b>	<b>20%</b>		現在、花色では身体拘束が必要な児童はおりません。(強度行動障害の専門講習は管理者が受けております。)

現在、花色では利用児様の医療的ケアやリハビリにつきましては

- ① “保護者様”に今行っている内容をお伺いしております。
- ② 各主治医、療育センターの整形外科への確認をおこないます。
- ③ 【医療的ケア情報提供文書】にて注意点や実施要項をすべての関係機関に2か月に一度発行（緊急や変更時はその都度発行）  
【個別緊急時対応方法】を保護者様にとって“緊急時”と考える方法を教えて頂き、その後主治医に確認したうえで発行（保護者1部、主治医1部提出）